



➤ 3月14日（木） 「グローバル10 海外大学進学講座」

3月14日（木）に東京グローバル10事業の一環として、「海外大学支援講座」が開かれました。海外大学、特にいわゆる名門大学と言われる大学に特化したお話でした。TOEFLやIELTSなどの語学力を証明する検定試験に加えて、SATなど学力を証明するものなどが必要となり、GPA（成績評価値）等が必要となります。GPAの算出は大学によって変わる場合もあることなど具体的な点も教えていただきました。後半はIELTSの問題にチャレンジをしました。1年生としては骨太なものでありましたが、十分に対応ができていました。特に、自分の意見をペアで交換するなどの活動は、普段の授業で慣れているせいかととても活発に行うことができたように思います。高校卒業後、もしくはその後の海外大学進学について考える良い機会になったと思われまます。

➤ 平成31年度海外派遣研修・交流 SSH G10 NZ 応募書類の配布について

海外派遣研修、姉妹校交流海外派遣に関する応募書類(応募用紙・課題用紙等)を配布しています。春季休業期間に入ってしまうと、確実な配布が難しくなりますし、課題にかけられる時間も少なくなってしまいます。25日（月）までに取りに来るようにしてください。

◎SSH海外派遣研修

配布場所： 1階 物理科準備室

◎東京グローバル10海外派遣研修

配布場所： 4階 英語科準備室

◎ニュージーランド Columba College 姉妹校交流

配布場所： 3階 社会科準備室

(注) 応募については一つの事業に限り、併願の応募はできません。また、東京都教育委員会の海外留学事業、スタンフォード次世代リーダー養成プログラム、Tazaki財団英国留学奨学生との併願もできません。

➤ 3月7日（木） 韓国姉妹校交流派遣生徒 JTB研究所での研修

3月7日、韓国姉妹校への派遣生徒たちがJTB研究所にて研修を行いました。JTB研究所は、観光産業についてのシンクタンクであり、各分野についてのコンサルティング業務を行っている機関です。ホームページには観光産業についてのさまざまな統計なども示されており、興味深い情報がたくさん示されています。

研修では、近年、日本への外国からの観光客数が急増していることや、国や地域によって日本に求めることに違いがあることなどについて教えていただきました。例えば、アジアからの観光客の方々の中には、日本では定番ともいえるアニメに関する場所や物が人気ですが、実は意外なものに人気があるそうです。それは「いちご狩り」、「ぶどう狩り」といったものだそうです。こういった「～狩り」のような直接果物を収穫して食べる、という楽しみ方は日本に特有のことであり、海外の人々には大変魅力的であるそうです。そして日本の果物の美味しさが伝わり、果物の輸出量も上がっているそうです。自

分たちには気がつかない日本の魅力や、外国から求められるものがある、というお話を聞き、大変刺激となりました。

姉妹校交流はホームステイをして、相手の文化の懐に入ることができるわけですが、そういった時こそ自分を見つめ直し、相手に伝えることを今一度考えてみる好機となるでしょう。充実した研修となるために、非常に意味深い研修となりました。

➤ **韓国姉妹校交流へ出発します！**

いよいよ韓国姉妹校「ミチュホル外国語高等学校」との交流活動へ出発します。韓国教育院などでの事前研修を重ね、3月30日（土）～4月2日（火）の日程で韓国にて交流を行います。現地ではホストファミリー宅でお世話になり、学校では現地の生徒たちと交流を深めます。帰国後は、報告会などを通して、活動内容、成果の報告を行います。充実した活動となるように派遣団一同、最後まで準備を進めています。

➤ **1年生が2年生の英語の授業を見学（ディベート活動）**

1年生はプレゼンテーション活動、2年生はディベート活動を中心に、英語運用力の伸長を図っています。今年の1年生も全クラスで一生懸命プレゼンテーション活動に取り組み、現在はディベート活動を開始したところです。現在の2年生も昨年度プレゼンテーション活動に一生懸命取り組み、今年はディベート活動を行ってきました。

今回は初めての試みとして、ディベート活動を始めたばかりの1年生が、2年生の活動を見学させていただきました。現在、2年生のディベートは1歩進んでいて、**prompt**、つまりあらかじめトピックを知らされておらず、その場で発表されるトピックについてディベートを行う「即興型」の活動を行っています。今回のトピックは”Space exploration is a waste of time.”でした。

説得力のある根拠を示すことがなかなか難しいトピックでしたが、さすがに2年生は絶妙な角度から意見を出し、さらに反駁も鋭く、内容の濃いやりとりになっていました。見学した1年生からは、「いきなりトピックを与えられて、すぐに立論するのは本当に難しい」という声が聞かれました。今後の目標を立てるにあたって、大きな刺激になったと思われます。

➤ **平成30年度 グローバル・ジャーナル最終号 ～ご愛読をありがとうございました！～**

グローバル・ジャーナルもこの30号が今年の最終号となります。今年はグローバル委員会による「Global Leaders × Readers」も発刊され、より充実した発信ができたように思います。グローバル10事業にかかわる情報を中心に、みなさんが将来、グローバル・リーダーとして活躍できる素地となるような幅広い教養やより高い語学力を身につけられるように、さまざまなことについて伝えてきました。

今後も学校行事やSSH活動、校内外での講演会などあらゆる機会をとらえて、さらなる高みを目指してください。日比谷高校にはそういったチャンスがたくさんあります。新年度からも頑張っていきたいと思います。